

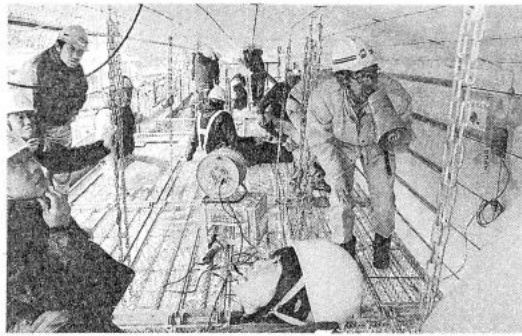
# 長橋の電気防食工学

第 2 回

## 県道路構造物保全協会 現場研修開く

### コンクリート診断士会と合同

福井県道路構造物保全協会(寛純治会長)の第2回現場研修会は26日、「長橋」(P2橋脚下部



吊足場上で工法の説明を聞く参加者たち＝福井市長橋町

工・P1・P2間上部工)において開催された。今回は県コンクリート診断士会(石川裕夏会長)と合同で行われ、協会員と賛助会員のほかコンサルタント、さらに発注元である

県福井土木事務所担当者ら計45人が参加し、延命化を図る電気防食工事の陽極被覆工、溝切削工、陽極設置工を中心に学んだ。座学は同町集落生活改善センターで行われ、P1・P2工法採用の電気防食工事について現場担当者

が線状陽極方式の設置方法や構成材料の特長点、維持管理が容易な利点などを詳しく説明。続いて施工する日光産業の担当者からは仮設足場工(枠組み足場・吊足場架設のラック足場)の先進的な工法内容に関し動画も用いて紹介した。

また作業が進む実際の現場に向いては、橋梁下の吊足場の上から、電気防食のモニタリング装置や陽極の設置個所など、工事進捗よく50%で施工途中にしか見ることのできない各種装置の実物を間近に確認した。改善センターに戻り質疑応答も活発に行われ、施工者から改めて、コンクリート構造物の電気防食が鋼材に電子を与え、鋼材界面のイオン化(腐食反応)を抑制する有効な方法だとアピールした。

研修冒頭、寛会長は道路構造物の延命化へ、今後も一層厳しい検査をクリアできる施工能力の向上にむけて会活動を継続していく抱負を交えて挨拶。最後に石川会長は、工事順序や工法のきめ細かさなど実際の現場に足を運んでみないと分からない点も知ることができると今研修の重要性を示して締めくくった。